福

三年

画数 13
筆順 ネ 礻 福 福
オン フク
クン

成り立ち

富（お金やものがゆたかなこと。5年810）のいみの〃畐（フク）〃（神にそなえるりっぱな酒入れの形をあらわした字）〃と、神にそなえるものをのせる台の形をあらわし、〃神〃のいみをあらわした〃ネ〃とを組み合わせて作った字です。「神からさずかった富」といういみの字で、お金や物による「しあわせ（幸）」ではなくて、「心のしあわせ」をあらわした字です。

お金や物のあるなしにかんけいなく、「自分はしあわせだなあ」と思うじょうたいであることをいいます。

使い方

▽ぼくは、おとうさんとおかあさんがいるので幸福です。世の中には、おとうさんのない子や、おかあさんのない子もいます。そういう子も、なんとかして幸福になってもらいたいと思います

▽わたしのおとうさんは、交通事故でなくなりました。でも、おかあさんががんばってわたしを育ててくれているし、わたしたちを助けてくれる人たちもいるので、幸福だと思っています。

熟語例

▽禍福（禍としあわせ。「禍福はあざなえるなわのごとし」ということばがあります。「不幸と幸福は、かわるがわるやってくるものだ」といういみです。「幸福の次には不幸がやって来ることが多いから、あまりうちょうてんになってはいけないし、不幸のあとには幸福がやってくるものだから、くじけないように」といういみのことばです。）

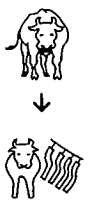
▽福相（福々しい顔。福がありそうな顔のことです。「おじいちゃんが、『この子は福相だ』といって、よろこびました」などというふうに、つかいます。）

物

三年

画数 8
筆順 ⺈ 牛 牛 牜 物
オン ブツ・モツ
クン もの

成り立ち



牛の形をあらわし、牛といういみの〃牛（うしへん）〃と〃勿（ブツ）〃という音（オン）の字とを組み合わせて作った字です。勿は、〃ふきながし〃がひらひらしている形をあらわした字で「おちつかない」といういみの字ですが、ここではブツという音をあらわしているだけです。

物は、「牛のように〃かちあるもの〃」といういみの字です。今では、かちのあるなしにかんけいなく〃もの〃といういみにつかいます。

〔ブツは漢音、モツは呉音である。勿は、「落着きがない」意味から、〃ない〃という意味に使われている。したがって、物は「牛のような〃もの〃ではあるが、牛そのものでは〃ない〃」という意味の会意とも取れる。〕

使い方

▽人間（ニンゲン）が生活（セイカツ）をするには、住（す）むところと、着（き）る物、食（た）べる物がひつようです。

▽ぼくは、学校にもって行く物は、前（まえ）のばんにそろえておきます。これは、おかあさんに教（おそ）わったのです。前のばん、よく日もって行くものをそろえておけば、わすれ物はぜったいにありません。

熟語例

▽物語（ものがたり）（お話（はなし）。語（かた）った物。「竹取物語（たけとりものがたり）は、日本でもっとも古（ふる）い物語です」などというふうに、つかいます。）

▽生物（セイブツ）（生きている物。動物、植物（しょくぶつ）すべてをふくみます。）

▽動物（ドウブツ）（動く生き物（い）。ということで、生き物の中で動きまわる物は、大てい動物です。動かない生き物は、大体植物です。）

▽物体（ブッタイ）（かたちのある物。「未確認飛行物体（ミカクニンヒコウブッタイ）」といえば、「まだ、あるとたしかめられていない空（そら）を飛（と）んでいる物」であるUFO（ユーフォー）のことです。）

▽宝物（ホウモツ）（宝（たから）もの。宝石や金など、ひじょうにねうちのあるもののことをいいます。）